

問1 台風の進路予想図で、台風はんいの中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何といいますか。

問2 気象観測システムであるアメダスは、主にどのようなことを調べるために使われますか。

問3 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問4 日本各地に置かれていて、雨の様子などを自動で調べる気象観測システムを何といいますか。

問5 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

問6 台風が近づいたときに、強い風ふうが吹いたり、短い時間に大雨あめが降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活や自然への被害ひがいのことを何といいますか。

問7 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

問8 宇宙うちゅうにある人工衛星さつえいから地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何といいますか。

問9 空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合わりあいのことを何といいますか。

問10 「わた雲」とも呼ばれる積雲よは、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

問11 空に雲がたくさんかかっている地域ちいきでは、どのような天気になることが考えられますか。

問12 南の方で発生した台風が、はじめは西の方へ動き、やがて北や東の方へと進んでいく、台風が通る道すじのことを何といいますか。

問13 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量はんいがどの範囲のときですか。

問14 台風の中心部分のことで、風も雨もやんでいることが多い場所を何といいますか。

問15 風が強くなり、雨の量が多くなるのは、台風がどのような動きをしているときですか。

問16 台風が近づいてくると、風や雨の様子はどのように変化しますか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲 <sup>はんい</sup> を円で表したものを「予報円」といいます。
問2	答え 雨の様子	アメダスは、雨の様子などを観測して天気の変化を調べるためのシステムです。
問3	答え 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問4	答え アメダス	雨の様子などを自動で観測する気象観測システムのことをアメダスといいます。
問5	答え 風も雨もやんでいることが多い	台風目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。
問6	答え 台風による災害	台風が近づくと、強い風や短い時間の大雨によって、人々の生活に大きな被害 <sup>ひがい</sup> が出ることもあり、これを台風による災害といえます。
問7	答え 天気のことわざ	昔からの言い伝えによって天気を予想する方法を「天気のことわざ」といいます。
問8	答え 人工衛星の雲画像	宇宙 <sup>うちゅう</sup> にある人工衛星から地球 <sup>ちきゅう</sup> を撮影して、雲の様子を表した画像のことを「人工衛星の雲画像」といいます。
問9	答え 雲の量	空全体に対して雲がどれだけの割合を占めているかを「雲の量 <sup>よ</sup> 」と呼びます。
問10	答え 晴れた日	積雲は、天気が良い晴れた日によく現れる特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。
問11	答え くもりや雨	雲がかかっている地域 <sup>ちいき</sup> では、くもりや雨の天気が考えられます。
問12	答え 台風の進路	台風が通る道すじのことを「台風の進路」といいます。南で発生した台風は、西へ進んだあと、北や東へ進むことが多いです。
問13	答え 0から8のとき	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときが「晴れ」になります。9や10のときは「くもり」になります。
問14	答え 台風目	台風の中心にある部分は「台風目 <sup>よ</sup> 」と呼ばれ、風や雨がやんでいることが多いのが特徴 <sup>とくちょう</sup> です。
問15	答え 自分たちの場所に近づいてくるとき	台風が自分たちの場所に近づいてくるにつれて、風が強くなり、雨の量が多くなっていきます。
問16	答え 風が強くなり、雨の量が多くなる。	台風が近づいてくると、風が強くなり、雨の量が多くなるという特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。

問1 「ツバメと雨の言い伝え」では、ツバメがどのように飛んだときに雨が降ると言われていますか。

問2 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

問3 空に雲がまったく見当たらないときの「雲の量」は、どのように表しますか。

問4 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量がどの範囲のときですか。

問5 日本のはるか南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多い、強い風や短い時間の大雨をもたらす気象現象は何ですか。

問6 台風のまわりをふく風は、どのような形の流れになっていますか。

問7 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

問8 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問9 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表したのですか。

問10 空全体を10としたときに、空に見えている雲の割合を表したものを何といいますか。

問11 夕焼けが見えると、次の日の天気はどのようになると言われていますか。

問12 台風の強い風で木がたおれたり、大雨でこぼれ水が起きたりして、人々の生活に大きな被害が出ることを何といいますか。

問13 空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合のことを何といいますか。

問14 「わた雲」とも呼ばれる積雲は、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

問15 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

問16 台風による災害のうち、台風がもたらす「大雨」が原因で起きるものはどれですか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 低く飛ぶ	この言い伝えでは、ツバメが低く飛ぶことが雨が降る前ぶれであるとされています。
問2	答え 水不足が解消されること	台風による大雨は、ダムなどの貯水量を増やすことで、水不足を解消することがあります。
問3	答え 0	雲がまったくないときの雲の量は0と表します。反対に、空全体に雲があるときは10と表します。
問4	答え 0から8のとき	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときが「晴れ」になります。9や10のときは「くもり」になります。
問5	答え 台風	日本のはるか南の海上で発生して北へ進み、強い風や大雨をもたらす気象現象を台風といいます。
問6	答え うず状	台風のまわりでは、うず状の風がふいています。
問7	答え 風も雨もやんでいることが多い	台風の目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特徴があります。
問8	答え 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問9	答え 宇宙にある気象衛星からの情報をもとに、雲の様子を表したもの	気象衛星の画像は、宇宙にある気象衛星からの情報をもとにして、雲の様子を表した画像です。
問10	答え 雲の量	空全体を10としたときの、空に見られる雲の割合のことを「雲の量」といいます。
問11	答え 晴れる	夕焼けが見えると、次の日は晴れるという言い伝えがあります。
問12	答え 台風による災害	台風の強風や大雨によって、建物や自然、人々の生活に被害が出ることを「台風による災害」といいます。
問13	答え 雲の量	空全体に対して雲がどれだけの割合を占めているかを「雲の量」と呼びます。
問14	答え 晴れた日	積雲は、天気の良い晴れた日によく現れる特徴があります。
問15	答え 天気のことわざ	昔からの言い伝えによって天気を予想する方法を「天気のことわざ」といいます。
問16	答え がけくずれやこう水	台風の大雨によって、がけくずれやこう水が起きます。鉄とうや木がたおれるのは強風が原因です。

問1 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問2 積らん雲には、どのような雨を降らせるという特徴がありますか。

問3 宇宙にある人工衛星から地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何といいますか。

問4 冬に、日本海側で雪をふらせたあとの乾燥した風が山をこえてふいてくるため、晴れる日が多くなるのはどこの天気ですか。

問5 晴れた日によく見られ、別名「わた雲」とも呼ばれる雲の名前は何かですか。

問6 雲の画像において、台風はどのような形に見えますか。

問7 天気のことわざで、夕焼けが見えるとき、次の日の天気はどうかとされていますか。

問8 台風が通りすぎたあとの「風や雨」の様子について、正しく説明しているものはどれですか。

問9 天気に関する言い伝えでは、昔の人はどのようなものを見て天気を予測していましたか。

問10 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

問11 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表したのですか。

問12 空に雲がたくさんかかっている地域では、どのような天気になることが考えられますか。

問13 「ツバメと雨の言い伝え」では、ツバメがどのように飛んだときに雨が降ると言われていますか。

問14 日本付近の雲の動きにともなって、天気はどのように変化していきますか。

問15 日本付近の雲は、ふだんどの方角からどの方角へと動いていますか。

問16 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問2	答え 短い時間に大量の雨を降らせる。	積らん雲は、短い時間に大量の雨を降らせる特徴を持っています。
問3	答え 人工衛星の雲画像	宇宙にある人工衛星から地球を撮影して、雲の様子を表した画像のことを「人工衛星の雲画像」といいます。
問4	答え 冬の太平洋側の天気	日本海側で雪をふらせて水分が抜けた風が山をこえてふくため、冬の太平洋側では晴れて乾燥する日が多くなります。
問5	答え 積雲	晴れた日によく見られる、わたのようにふわふわした形をした雲を積雲（せきうん）といいます。
問6	答え 白いうずのような形	雲の画像において、台風は白いうずのように見えるという特徴があります。
問7	答え 晴れになる	天気のことわざでは、夕焼けが見えると明日の天気は晴れになると言われています。
問8	答え 風も雨もおさまる	台風が通りすぎると、台風による強い風や激しい雨はどちらもおさまります。
問9	答え 夕焼けや雲 of 様子	昔は気象衛星やアメダスがなかったため、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していました。
問10	答え 水不足が解消されること	台風による大雨は、ダムなどの貯水量を増やすことで、水不足を解消することがあります。
問11	答え 宇宙にある気象衛星からの情報をもとに、雲の様子を表したもの	気象衛星の画像は、宇宙にある気象衛星からの情報をもとにして、雲の様子を表した画像です。
問12	答え くもりや雨	雲がかかっている地域では、くもりや雨の天気が考えられます。
問13	答え 低く飛ぶ	この言い伝えでは、ツバメが低く飛ぶことが雨が降る前ぶれであるとされています。
問14	答え 西から東へと変化していく	天気は雲の動きにつれて、西から東へと変化していきます。
問15	答え 西から東	日本付近にある雲は、およそ西から東へと動いています。
問16	答え 風も雨もやんでいることが多い	台風の目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特徴があります。

- 問1 空に雲がたくさんかかっている地域<sup>ちいき</sup>では、どのような天気になることが考えられますか。
- 問2 天気や雲の色、雲の量や形、雲の動く向きや速さなどを記録することを何といいますか。
- 問3 日本のはるか南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多い、強い風や短い時間の大雨をもたらす気象現象は何ですか。
- 問4 「わた雲」とも呼ばれる積雲<sup>よ</sup>は、どのような天気の日によく見られる雲ですか。
- 問5 台風による大雨<sup>ふ</sup>が降ることで、水不足が解消されるのはなぜですか。
- 問6 台風が近づいてくると、風や雨の様子はどのように変化しますか。
- 問7 台風が近づいたときに、強い風が吹<sup>ふ</sup>いたり、短い時間に大雨<sup>ふ</sup>が降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活<sup>ひとびと</sup>や自然への被害<sup>ひがい</sup>のことを何といいますか。
- 問8 台風のまわりをふく風は、どのような形の流れになっていますか。
- 問9 気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していた知恵<sup>ちえ</sup>のことを何といいますか。
- 問10 台風が近づいてきたとき、どのような天気の変化が起こりますか。
- 問11 「晴れ」と「くもり」という天気<sup>ちがひ</sup>のちがいは、何をもとにして決められていますか。
- 問12 台風が完全に通りすぎたあとの天気は、一般的<sup>いっぱん</sup>にどのようなになることが多いですか。
- 問13 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表したのですか。
- 問14 台風の進路予想図で、台風の中心が進むと考えられる範囲<sup>はんい</sup>を円で表したものを何といいますか。
- 問15 人工衛星の雲画像とは、どのような場所から、何を撮影したのですか。
- 問16 台風の強い風で木がたおれたり、大雨でこう水が起きたりして、人々の生活<sup>ひとびと</sup>に大きな被害<sup>ひがい</sup>が出ることを何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え くもりや雨	雲がかかっている地域 <sup>ちいき</sup> では、くもりや雨の天気と考えられます。
問2	答え 雲の観察	天気や雲の色、量、形、動く向きや速さなどを記録することを「雲の観察」といいます。
問3	答え 台風	日本のはるか南の海上で発生して北へ進み、強い風や大雨をもたらす気象現象を台風といいます。
問4	答え 晴れた日	積雲は、天気の良い晴れた日によく現れる特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。
問5	答え ダムや川にたくさんの水がたまるから	台風がもたらす大量の雨がダムや川に流れ込んで蓄え <sup>たくわ</sup> られるため、水不足が解消されます。
問6	答え 風が強くなり、雨の量が多くなる。	台風が近づいてくると、風が強くなり、雨の量が多くなるという特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。
問7	答え 台風による災害	台風が近づくと、強い風や短い時間の大雨によって、人々の生活に大きな被害 <sup>ひがい</sup> が出ることもあり、これを台風による災害 <sup>ひとびと</sup> といいます。
問8	答え うず状	台風のまわりでは、うず状の風がふいています。
問9	答え 天気に関する言い伝え	気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子から天気を予測していた知恵 <sup>ちえ</sup> を「天気に関する言い伝え」といいます。
問10	答え 強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする。	台風が近づくと、強い風 <sup>ふ</sup> が吹いたり、短い時間に大雨 <sup>ふ</sup> が降ったりする特徴 <sup>とくちょう</sup> があります。
問11	答え 雲の量	「晴れ」と「くもり」の天気は、空をおおっている「雲の量」を基準にして区別されています。
問12	答え 風や雨がおさまり、すっきりと晴れわたる	台風が通りすぎると、それまでの激しい風や雨はおさまり、青空が広がってすっきりと晴れわたることが多くあります。
問13	答え 宇宙にある気象衛星からの情報をもとに、雲の様子を表したもの	気象衛星の画像 <sup>うしゅう</sup> は、宇宙にある気象衛星からの情報をもとにして、雲の様子を表した画像です。
問14	答え 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲 <sup>はんい</sup> を円で表したものを「予報円」といいます。
問15	答え 宇宙から地球を撮影し、雲の様子を表したもの	人工衛星の雲画像 <sup>うしゅう</sup> は、宇宙にある人工衛星から地球 <sup>さつえい</sup> を撮影して、雲の様子を表したものです。
問16	答え 台風による災害	台風の強風や大雨によって、建物や自然、人々の生活に被害 <sup>ひとびと</sup> が出ることを「台風による災害 <sup>ひがい</sup> 」といいます。

- 問1 人工衛星の雲画像とは、どのような場所から、何を撮影した（さつえい）ものですか。
- 問2 風が強くなり、雨の量が多くなるのは、台風がどのような動きをしているときですか。
- 問3 全国の約1300か所にある気象観測所で、雨の量や風の強さなどを自動的に観測し、集計するシステムを何とといいますか。
- 問4 台風による大雨（あめ）が降ること（ふる）で、水不足が解消されるのはなぜですか。
- 問5 台風の進路予想図で、台風（たいふう）の中心が進むと（はんい）考えられる範囲を円で表したものを何とといいますか。
- 問6 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表した（あらわ）したのですか。
- 問7 冬に、日本海側で雪をふらせたあとの乾燥（かんそう）した風が山をこえてふいてくるため、晴れる日が多くなるのはどこの天気（てんき）ですか。
- 問8 空全体を10としたとき、雲の量が9から10のときの天気は何（なに）ですか。
- 問9 日本付近の雲の動きにともなって、天気はどのように変化（へんか）して（かわ）りますか。
- 問10 弱い雨（あめ）を広い範囲（はんい）にわたって、長い時間降（ふる）らせる特徴（とくちょう）を持つ雲の名前（なまえ）は何（なに）ですか。
- 問11 台風（たいふう）が近づいて強い風や大雨（あめ）になると、どのようなこと（こと）が起こるおそれ（おそれ）がありますか。
- 問12 台風（たいふう）のまわりをふく風（かぜ）は、どのような形（かたち）の流れ（ながれ）になっていますか。
- 問13 台風（たいふう）が日本付近（にっぽん付近）に近づく（ちかづく）ことが多い（おおい）のは、何月（なにげつ）ごろから何月（なにげつ）ごろ（ころ）にかけて（かけて）ですか。
- 問14 台風（たいふう）が発生（はっせい）する場所（ばしょ）は、地球（ちきゅう）のどのあたり（あたり）にある海（うみ）ですか。
- 問15 夏の空（あか）などによく見（み）られ、「入道雲（にゅうだう雲）」という別（わか）れ名（な）でも呼（よ）ばれる雲（雲）は何（なに）ですか。
- 問16 「ツバメ（つばめ）が低（ひく）く飛（と）ぶと、どのような天気（てんき）になる」という言（こと）い伝（つた）え（え）が（が）あります（あ）るか。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	<b>答え</b> 宇宙から地球を撮影し、雲の様子を表したもの	人工衛星の雲画像は、宇宙にある人工衛星から地球を撮影して、雲の様子を表したものです。
問2	<b>答え</b> 自分たちの場所に近づいてくるとき	台風が自分たちの場所に近づいてくるにつれて、風が強くなり、雨の量が多くなっていきます。
問3	<b>答え</b> アメダス	全国の約1300か所の気象観測所で、雨の量や風の強さなどを自動的に観測して集計する仕組みをアメダスといいます。
問4	<b>答え</b> ダムや川にたくさんの水がたまるから	台風がもたらす大量の雨がダムや川に流れ込んで蓄えられるため、水不足が解消されます。
問5	<b>答え</b> 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲を円で表したものを「予報円」といいます。
問6	<b>答え</b> 宇宙にある気象衛星からの情報をもとに、雲の様子を表したもの	気象衛星の画像は、宇宙にある気象衛星からの情報をもとにして、雲の様子を表した画像です。
問7	<b>答え</b> 冬の太平洋側の天気	日本海側で雪をふらせて水分が抜けた風が山をこえてふくため、冬の太平洋側では晴れて乾燥する日が多くなります。
問8	<b>答え</b> くもり	空全体を10としたとき、雲の量が9から10のときの天気を「くもり」といいます。
問9	<b>答え</b> 西から東へと変化していく	天気は雲の動きにつれて、西から東へと変化していきます。
問10	<b>答え</b> らんそう雲	弱い雨を広い範囲に長い時間降らせる特徴を持つ雲は、らんそう雲と呼ばれます。
問11	<b>答え</b> 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問12	<b>答え</b> うず状	台風のまわりでは、うず状の風がふいています。
問13	<b>答え</b> 8月から9月ごろ	台風は、1年のうちで8月から9月ごろにかけて日本付近に近づくことが多くなります。
問14	<b>答え</b> 南の方の海	台風は、南の方の海上で発生します。
問15	<b>答え</b> 積らん雲	積らん雲は、入道雲とも呼ばれる特徴的な雲です。
問16	<b>答え</b> 雨が降る	「ツバメが低く飛んだら雨が降る」という、天気に関する有名な言い伝えがあります。